

岩手県職労

月2回刊=1498号
2017年12月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸九番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

職員希望を最優先に配慮を

12月11日、県職労は2018年定期人事異動に係る要求書を佐藤人事課長に提出し、早期内示・本人希望の尊重の課題を中心に交渉を行った。県職労では早期内示、本人希望に沿った異動に向け取り組みを強化していく。

①早期内示

現時点で内示日は示せないが、一定程度の週休日を確保することを求め、出来る限り配慮するとした。交渉から住居確保等が一段落した。早期内示を強く求めた。

②沿岸地区への配慮

異動先の住居が直ちに確保できないため、異動先の地域に再度転居することを前提に、一旦異動先の地域以外の地域の住居に転居し



▲要求書を手渡す小野委員長(右)



▲人事異動の早期内示などに関して申し入れを行う県職執行部

③本人希望の尊重

身上調書の内容をもとに本人希望や家庭事情、単身赴任の状況等を把握するとともに、組合からの情報も得ながら検討していくとし



▲回答する佐藤人事課総括課長(中央)



▲守衛の「民間委託」撤回を求める山口現業評議長(中央)



▲左側手前から野中自治労県本部委員長、佐藤伸一氏、小野県職労委員長

退職手当の引き下げを行わないこと、職員の勤務意欲策を講じることを実現させるために——
「レッドカード」(個人署名)に協力を!
■集約日は12月28日(木)

「守衛」民間委託で管財課と交渉

委託方針崩さず改善策も示さず

県職労「応じられない」再交渉へ

12月11日、県職労現業評議会(議長、山口耕司・管財課分会は、11月13日の交渉において、守衛業務の完全民間委託の方針が示されたことに対し、再考を求めたが、具体的改善策がなく、全く納得できないとし、再交渉を行った。

佐藤伸一氏 連合岩手事務局長 就任で知事を表敬訪問

達増知事・今後の活躍に期待を表明

12月8日、10月25日に連合岩手の事務局長として就任した、県職労出身・佐藤伸一さんが、一関児童相談所分会)が、就任あいさつのため、自治労県本部・野中



▲管財課総括課長(左)は、委託化方針譲らず

実効性ある対策を追求した。これに対し、猪久保総括課長は、「受託事業者への指導体制を強化する」、「来年度から1人体制となる守衛の業務軽減のため、管財課担当者が業務支援する」等との回答に終始し、現状の守衛業務が直面する

諸課題への具体策が示されず、交渉は平行線となった。これに対し、管財課の姿勢は許されず、守衛完全民間委託には応じられないとし、当局責任で具体的な対策を求めるとともに、再交渉を申し入れた。一方、車庫の運転技士の配置数は現状として現行水準を維持するとの回答を引出した。現業評では、納得できる対応を求め、交渉を継続していく。



▲達増知事(左)と佐藤伸一氏

委員長と県職労・小野中央執行委員長とともに、達増知事を表敬訪問した。佐藤事務局長は、県職労・自治労運動の経験を活かし、労働者の牽引役として、労働者のクラシノソコアゲと格差是正とともに、制度政策提言を行っていくために全力を挙げるとし、知事に決意を表明した。達増知事も県内の労働環境の改善、地方の活性化のためにも連合は重要な役割を担っており、新事務局長としての活躍に期待をするとし、エールを送った。県職労も佐藤事務局長の活躍のため全力を挙げて支えていく。

第五世代

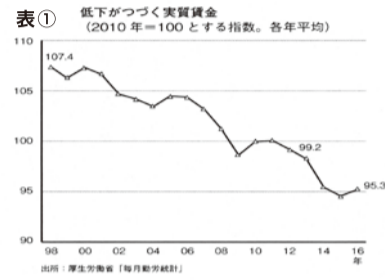
師走となり、一年を振り返る報道が多いが、今年はどういう年だったのだろうか▼一年を通してトランプ大統領の言動が世界を騒がせた。アメリカ第一主義を掲げ、今までにない利益優先の発言が物議を醸し、TPPの離脱をはじめ、特定国の入国規制やメキシコ国境に壁を作るとするなど、強気の姿勢でまくしたてた。だが振り返ると実際に実行できた政策は少ない。来年も台風の目になることは間違いない▼北朝鮮のミサイル発射のニュースが連日報道された。国際的に経済制裁を課しているが、ミサイル・核兵器開発を続ける、こちらも強気の姿勢を崩していない。一方で国民の困窮は深刻との報道もあり、独裁体制の問題も深まっている▼安倍首相の動向は言うまでもない。昨年の安保法制の強行に続き、6月に共謀罪を強行させた。10月の解散総選挙で圧倒的勝利となったが、森友・加計問題では明確な説明が出ず、守勢である。しかし、改憲への姿勢は崩れていないこともあり、注視が必要である▼権力者が自らの利益を強調してはばかりでない年だった。その中で犠牲になるのは常に国民である。来年は私たちがしっかりと発言する年にしなければならない。

民間労働者との連帯が大きな力 暮らしの底上げに向け「18春闘」に結集を

秋の確定闘争の結果、12月11日で給与条約が県議会で可決、12月27日に差額支給の方向が確定し、2017賃金確定が終了した。賃金確定闘争は、春闘の結果が反映されており、公務員の賃上げや労働条件の改善のためには、春闘への結集が重要となる。連合では2018春闘の要求基準に關し、定期昇給を含めて4%の賃上げ実現の方針とし、「クラシノソアゲ」価格

【賃金改善】

安倍首相は2018春闘に向けて経済界に3%の賃上げを要請する5年連続の「官製春闘」の姿勢を示している。アベノミクスで経済の好循環と賃上げが実現しているとの錯覚に惑わされてはいけない。表①は、低下する実質賃金の推移



表① 低下がつかず実質賃金 (2010年=100とする指数。各年平均) 出所：厚生労働省「毎月労働統計」

学習 健康被害を防ごう

組合員一人ひとりの、長時間労働の是正に向けて長時間労働の健康への影響と防止策について学習しよう。

【長時間労働と健康問題】

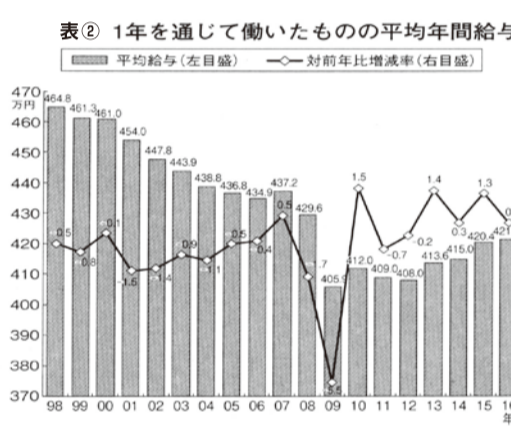
長時間労働は、労働の負荷を大きくするだけでなく、睡眠・休養時間、家庭生活・余暇時間の不足を引き起こし、「疲労」を蓄積させる。

長時間労働の背景には、高い仕事の成果要求(業務量が多い、質的に高度な仕事)が存在することが多い。

表②は、平均年間給与額の推移だが、2000年代初頭に比して大幅に賃金は低下した。改め、生活に必要な経費を積み上げて、必要な賃金水準を達成から明らかにして要求していこう。

表② 1年を通じて働いたものの平均年間給与額。平均給与(左目盛)と対前年比増減率(右目盛)を示している。1998年から2016年までのデータを示している。

労働の実態は、月80時間超の職員は延べ1,007人、月100時間超の職員は453人(主な内訳・40代191人、30代154人、20代66人)と増加している。長時間労働は正



12月1日、県職労本部を会場に県内各支部から8人が参加し薬剤師の労働条件改善会議を開催した。会議では、2018年度の薬剤師採用予定者数、薬剤師と行政職の賃金比較について学習のうえ、現在の働き方等意見交換を行なった。

も厳しく追及し、特に残業代ゼロ法の成立を阻止しなければならぬ。12月に自治労県本部の春闘アンケートの取り組みを

行なう。県職労はこれらの集計し、賃金要求をはじめとした春闘方針の確立に向けて取り組みを強化していく。春闘アンケートに切実な要求を掲げよう。



▲薬剤師の労働条件改善に向けた意見交換

活憲で「平和と人権」を守る

【全国市民アクション岩手】結成集会開催

3000万人全国統一署名に全力を挙げる

12月10日、安倍9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会結成集会(平和環境県センター等が主催)が盛岡市・サンビル大ホールで行われ、約450人の市民・団体が結集した。この会は、先の衆議院選挙で安倍自公政権をはじめ改憲勢力が8割を超える状況から、憲法9条に自衛隊を明記する改憲議論が加速

するなか、安倍改憲の問題点を全国に広めるとともに、改憲を許さない姿勢を示すべく、全国で3000万人(岩手では30万人)の統一署名の集約に全力を挙げるべく結成された。結成集会では来年5月までに署名集約する方針が確立された。その後、「八法亭みややつの憲法断」と題し、弁護士飯田美弥子さんが講



▲全国市民アクション岩手の会結成集会



▲全国3000万人署名集約へ協力を呼びかける

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名にご協力を!
◆取り組み期間: 2017年12月1日(金) ~ 2018年1月末日
“安倍9条改憲” 反対、平和・人権・民主主義が生かされる政治の実現に向けて、一人5筆 を目標にしています。
組合員はもとより、多くの皆さんのご協力をお願いします。

年末・年始の事故等には十分お気をつけてください。
寒さが厳しい冬期の外出では、路面凍結等もあり車の運転には十分に気をつけなければなりません。
また、年末・年始の休暇は帰省や旅行で出かける機会が増えたり、雪道に慣れていない県外からの車両が多くなったり、いつにも増して注意が必要です。万が一の事故の際は自治労マイカー共済の緊急連絡先へ!

マイカー共済事故受付センター
フリーダイヤル 0120-0889-24
自治労マイカー共済ロードサービス
フリーダイヤル 0120-889-376